

平成 25 年度第 2 回 愛知県人にやさしい街づくり推進委員会

辻委員 提出資料

2014 年 1 月 30 日

愛知県知事

大村秀章 さま

愛知県人にやさしい街づくり推進委員会

委員 辻 直哉

平成 25 年度第 2 回愛知県人にやさしい街づくり推進委員会における事前質問および要望

日頃より障害者福祉にご尽力頂きありがとうございます。

さて、本推進委員会開催に向けて、以下、事前に質問および要望があります。ご回答下さいますようお願いいたします。

1. 現在名古屋駅周辺においては、大規模な再開発が行われている。この再開発の概要と本推進委員会に関わることがあるのか教えて頂きたい。

2. 2020 年東京にてオリンピック、パラリンピックが開催されることになっている。愛知県においても多くの障害者や高齢者が訪れることが予想されるが、どのような取り組みをされていくのか教えて頂きたい。

特に懸念されるのが新幹線乗車におけるハンドル型電動車いすの取り扱いについてである。現在、一般社団法人 日本福祉用具評価センターが、「改良型ハンドル形電動車いす」と認定し、その旨の同センター発行のステッカーが貼付された「改良型ハンドル形電動車いす」とし、かつ、N700 系で、多目的室が利用可能な場合と、非常に限定的である。(別紙 参考資料参照)

実際に、2010 年 12 月 9 日、ハンドル形電動車いすを使用している米国人女性障害者が、東京駅から京都へ移動する際に新幹線への乗車を拒否されるということが発生した。

愛知県として、このハンドル型電動車いす取り扱い問題に、どのように対処をされるおつもりか、ご教示願いたい。

3. 視覚障害者のホームからの転落事故についていっこうにならない。ホームドアやホーム柵の設置が非常に有効であるが、名古屋市営地下鉄の一部や中部国際空港駅といった限られた駅でしか設置されていない。そこで東京や大阪では簡易的なロープ式ホーム柵という新方式の実証実験を行っている駅があるが、愛知県では、実証実験の内容および、

実証実験後の設置予定があるか、教えて頂きたい。

4. 人にやさしい街づくり整備基準に不適合の建築物が増加しているということだが、他の都道府県でも同様のことが発生しているのか。比較できるデータがあれば、お示し頂きたい。

1 人にやさしい街づくりに関する現状及び課題

(1) 整備基準に適合していない建築物が増加している

・整備計画の届出受理件数は、平成8年度を境に減少し、特定施設の対象拡大で一時的に増加するものの、その後は減少傾向にある。

・整備計画の適合状況は、条例制定当時は97%以上であったが、平成23年度には約68%にまで低下している。

・適合証の交付件数は、平成18年度を境に減少傾向にある。

(平成24年度人にやさしい街づくり推進委員会資料より)

5. 行政への住民参加が重要性を増している。本委員会においても、現に「街づくり活動」をされている方を委員に招くことを検討されてはいかがか。